



学校便り 5月号

かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008
発行 令和4年5月23日 責任者 校長 永野 俊也

学校HP 学校ブログ



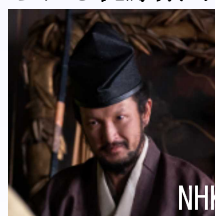
鎌倉殿の13人と甕島

校長 永野 俊也

現在、里小学校の150周年記念誌を編纂中で、その中で甕島の歴史をわかりやすく解説しようと試みています。そんな折り、NHKの大河ドラマでは、武士の世の中の草創期を描いた「鎌倉殿の13人」が放映されています。5月前半の放送で「壇ノ浦の戦い」まで進み、あっという間に平家が滅んでしまいました。「祇園精舎の鐘の声〜」平家物語の冒頭、序文が聞こえてきそうです。このペースで話が進めば、年末のクライマックスは、源頼朝の直系が3代で途絶えた際に、後鳥羽上皇が朝廷の権力を取り戻そうと起こした承久の乱(1221年)ということになりそうです。ここで、甕島の中世の歴史とつながることになります。

この戦いで武士集団をまとめることに成功した北条氏は、20万もの大軍で京都を包囲勝利し、この後、江戸時代末まで続く武士中心の世の礎となりました。東日本中心であった武士の勢力が、朝廷が押さえていた西日本に及ぶのはこれ以降です。恩賞として東日本の多くの武士たちに西日本の土地を与え、彼らは地頭として領有権を持ち赴任してきます。甕島の領主として1247年以降甕島に入った小川氏も、もともとは東京都の奥地から来ています。そして、その後約350年間統治しますが、薩摩の島津氏といろいろあって、豊臣秀吉により改易(実質上の取りつぶしです…。この時1000石を与えられ、現在の金峰町に200騎の武士と共に渡ったと記録がありますが、金峰町の歴史にその後の記録がなく、供養塔だけが残っています。そして一緒に渡った200騎の武士は、加藤清正につれさられた?とも言われています)となりました。しかしながら里小の裏の亀城を居城とした小川氏は、その拠点を下甕の手打に移した後も、里の人々の心のよりどころとなっていたようです。

話を源平合戦の頃にもどします。九州各地にはこの甕島をはじめ、多くの平家の落人伝説が残っています。ただ史実を冷静に見つめてみると、九州は先に源範頼らに押さえられていたため、落ち延びること自体がまず不可能です。さらに驚くことには、この甕島には、鎌倉殿の13人(2代将軍頼家の独裁を防ぐために設けた有力御家人13人による合議制)に列せられる梶原景時に関係のある伝承が残っています。



大河ドラマでは中村獅童さんが演じています。彼は頼朝に義経の悪口を告げ口したり、同じ有力御家人の畠山氏を陥れようとし、終いには御家人衆から総スカンとなり鎌倉から追放、現在の静岡市で一族すべて討ち取られています。ですから悪役のように扱われるのですが、もともとの仕事が目付役(武士の監督・監視役)で、頼朝に重用されていたため、恨みがかいやすかった。それを北条氏に利用され、これからはじまる有力御家人肅正のはじめとされた(13人の御家人たちがどういう運命をたどるのか…これでわかります?)その本質は忠臣であったのではと歴史の研究は進んでいます。その子である景季が、なんと生き延びて里村に上陸、小川氏と争い中甕の平良を治めたとか、中甕の中野集落に潜み、病没(供養塔が残っています)したというのです。なんともロマンのあるお話です。

いかがでしたでしょうか? 今月号は、甕島の歴史について視点を変えて迫ってみました。



令和4年度のPTA役員が決定しました

4月25日(月)に、PTA総会が行われ、令和4年度の役員が承認されました。依然として、新型コロナウイルス感染症の影響がある中ではありますが、一年間、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

会長	西薊 桂	副会長	山下 賢太 長井 里沙
書記	山形 幸司	会計	下瀬 朋美
顧問	永野 俊也	監査	日笠山 大 石原 公郎
生活指導部 (地域代議員)	部長 塩田 健介 副部長 辻 裕美	保体事業部	部長 後藤 さおり 副部長 小川 隆薫
研究広報部	部長 下瀬 朋美 副部長 石原 功一		
1年代議員	(長) 大井 隆之 (副) 中原 香代子	2年代議員	(長) 久保田 桂輔 (副) 大村 亜沙美
3年代議員	(長) 西薊 中 (副) 肥後 美希	4年代議員	(長) 橋口 修一 (副) 塩田 聡子
5年代議員	(長) 川畑 和永 (副) 辻 恵里奈	6年代議員	(長) 原田 忠彦 (副) 馬場 理美

体力テスト頑張りました!

5月12日(木)は、全児童で体力テストを行いました。この日は、あいにくの雨だったので、体育館でできる種目のみを行い、土曜授業の日にソフトボール投げと50m走を行いました。

1年生にとっては初めての経験だったので、先生方や上級生に教わりながら取り組みました。今年度も学校全体で、体力向上に努めていきます。



6月行事

- 1日(水) 委員会活動
- 1日(水) ~ 読書旬間(〜14日)
- 5日(日) 耳鼻科・眼科検診(里公民館)
- 9日(木) かのこゆり号来校・学校運営協議会
- 10日(金) 中期ふるコミュ
- 11日(土) 土曜授業日・避難訓練(大雨)
- 15日(水) クラブ活動
- 生活リズム指導週間(〜21日)
- 16日(木) 中期ふるコミュ(中津小)
- 20日(月) 着衣水泳
- 21日(火) 第1回学校保健委員会
- 22日(水) 先生と語ろう週間(〜24日)



子供たちは15歳で島立ちを迎え、その後人生の大半を島外で過ごす割合が高くなっています。そのために小中一貫の教育目標を「ふる里を愛し、主体的に生き方を創造する里の子供の育成」と定めています。よりふる里を愛するために、さらに深くふる里のことを知ってほしい。また、甕島は四方を海に閉ざされた環境故に、自己のルーツを他の地域よりたどりやすい。幸いにして「甕島歴史姓氏大概」のように塩田甚志さんにより、古文書を読み解き整理された文献も残っています。民族学の宝庫と賞された甕島の価値を、きちんと子供たちに伝え、次の世代へ繋いでいくことも地域と共に学校が果たすべき役割だと感じています。新しい時代に向けて、これからも進化できる学校でありたいと思います。